

女性農業者の農業経営参画のための資質向上

八頭農業改良普及所

<活動事例の要旨>

○女性農業者にとっては、農業生産場面における技術や知識等を学ぶ機会が少ないことから、平成26年に立ち上げた『八頭郡農業女子会』（以下「女子会」という。）を対象に、農業経営参画のための資質向上と交流促進を目的とした研修会を開催した。

○農業機械操作、梨の栽培管理技術、農産物の直売体験等の農業に関する技術や知識の習得支援と共に、女性が主体的に取り組めるツールとして3S（整理・整頓・清掃）の取組支援を行った。

○令和元年までに7名の女性が主体的に3Sに取り組み、作業時間が短縮するなどの成果が見られた。また、親元就農した女性は技術・知識の習得の成果として主体的な経営参画が進み、経営継承に向けた準備が進んだ。

1. 普及活動の課題・目標

(1) 背景

・管内の女性農業士から女性農業者が交流する機会や学ぶ機会を作ってはどうかとの提案を受け、平成26年に女子会の立上げを支援した。女子会では、会員相互が交流促進を図るとともに、普及所は、女性農業者の農業経営参画のために必要な資質の向上を目的として、共通課題である土づくりや簿記などの研修会を開催し、農業関係の技術習得支援を行ってきた。

・平成29年に開催したGAPやHACCPの研修会を契機に3S（整理・整頓・清掃）への取組に関心が高まってきたことから、平成30年からは、女性が取り組みやすい経営改善のツールとして3Sを推進することとした。

・女子会の会員の中には親の経営を継承予定の親元就農者があり、早期技術習得の支援が必要であった。



写真1 『八頭郡農業女子会』
の交流会の様子（H26）

(2) 課題

ア 農業に関する知識や技術の向上

農業に関する知識・技術の習得は共通ニーズであり、農業機械の操作や果樹等の栽培技術や販売に係る知識の習得の意向がある。

イ 3S取組の拡大やスキルアップ

家族間の意識の差で取り組めない女性もあるため、3Sの推進には家族への意識啓発は不可欠である。また、既取組者についてはさらなるスキルアップをめざし、継続的な支援を行う。

ウ 女性親元就農者の経営能力向上

スムーズな経営継承ができるよう栽培技術等の早期習得が必要である。

(3) 普及対象（R1年度）

管内の意欲的に農業に取り組む女性農業者 10名
（うち重点対象は親元就農した女性1名）

(4) 到達目標 (R1 年度)

3 S 実践農業者数 ⇒ 7 名

2. 普及活動の内容

(1) 農業機械・栽培管理や販売に係る知識技術習得支援

ア 安全に作業を行うための農業機械等の使い方・メンテナンス方法の習得支援

⇒刈払機研修(H30年)、トラクター研修(R1年)、刃物の研ぎ方講習会(R1年)

イ 果樹農家を対象にした剪定技術等の習得支援や労働負担軽減の啓発

※令和元年から女子会内に「梨部会」を立ち上げ活動

⇒剪定勉強会、農薬等勉強会、労働改善グッズの試着

ウ 販売に係る知識技術習得支援

※令和元年から女子会内に「販売部会」を立ち上げ活動

⇒地元イベントでのブース参加(11月)



写真2 トラクター研修(R1.7月) 写真3 梨の剪定勉強会(R1.12月) 写真4 イベントでの直接販売(R1.11月)

(2) 整理・整頓・清掃(3S)の取組支援

⇒ 研修会等での取組啓発、取組農家の個別支援



写真5 3Sの視察(H30) 写真6 3S取組の情報交換会(H30) 写真7 取組農家の支援(H30)

3. 具体的な成果

- ・研修会を通じて、農業機械の活用や栽培技術の向上の意欲が高まった。
- ・イベント参加により、消費者ニーズの把握や食品の表示方法など、販売のノウハウについて習得することができた。
- ・重点対象の親元就農した女性は、3Sや農業機械等の知識や技術の習得により、主体的な経営参画が進み、経営継承に向け進展した。
- ・女子会で7名が3Sを実践し、到達目標を達成できた。実践した会員の中には作

業時間が短縮するなど経営改善につながった農家もあった。また、新たに取組の意向を示している会員もあり、今後も広がりつつある。

【3S取組事例（A農家作業場）】



写真8 3S取組前



写真9 3S取組後（左：工具棚、右：農薬保管庫）

<取組後の効果>

- ・防除準備作業時間が1/3に短縮
- ・足元にモノがなくなり、安全に作業ができるようになった 等

4. 今後の普及活動に向けて

(1) 農業機械操作等の技術向上支援の継続

令和元年度に行った研修会のアンケートなどで、農業機械の操作など農業生産場面における技術を女性が学ぶ機会が依然として少ないことがうかがえた。女性が参加しやすい研修機会を増やしていくため、継続的に研修会を実施する。

(2) 3Sの維持に向けた働きかけと地域への波及

取り組んでも維持が難しいという農家があるため、定期的に状況を確認するなど継続的な働きかけをしていく。また、機会を捉えて取組事例を紹介し、地域へ波及させていく。

(3) 資質向上後の農業経営参画の実現に向けた支援と検証

『八頭郡農業女子会』の若い会員は意欲的に研修会等に参加しており、このような資質向上にむけた研鑽を続けることで積極的な農業経営参画が期待できる。

経営参画にむけては、家族の男女共同参画に対する意識や協力も不可欠であるため、3Sの取組推進をきっかけに普及所として入り込めた普及対象の家族経営体に対して、男女共同参画への意識啓発をしながら経営参画が実現するよう継続支援するとともに、その実績を確認していく。

(4) 次世代リーダーの育成

前向きな女性農業者の活躍を地域内外に周知し、仲間を増やすとともに、地域農業をけん引する次世代リーダーの育成を図りたい。

(執筆者：遠藤 奈緒子)